

学校コード F1269110107407

注3

意見伺い (JD)

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

注2

京都大学大学院
経済学研究科

京都大学国際連携グロ
バル経済・地域創造専攻

(修士課程)

【意見伺い (JD)】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人京都大学

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 総務部総務課法規企画掛

職名・氏名 石川 貴之

電話番号 075-753-2234

(夜間) 同上

e-mail 830houki@mail2.adm.kyoto-
u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

京都大学大学院経済学研究科

＜京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（修士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人京都大学

【連携外国大学の設置者】

University of Glasgow : グラスゴー大学評議会 (The University Court of the University of Glasgow)

University of Barcelona : スペイン王国

(2) 大学名

京都大学

【連携外国大学の名称】

University of Glasgow

University of Barcelona

(3) 調査対象大学等の位置

〒606-8501

京都府京都市左京区吉田本町

【連携外国大学の本部の位置】

University of Glasgow, University Avenue, Glasgow G12 8QQ, Scotland, UK

University of Barcelona, Gran Via de les Corts Catalanes, 585 08007, Barcelona, Spain

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			
学長	(ミナト ナガヒロ) 湊 長博 (令和2年10月)		
学部長	(イダ タカノリ) 依田 高典 (令和3年4月)		
専攻長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
大学院経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻 修士(グローバル経済・地域創造)	経済学関係	2年	<78> 8人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	<156> 16人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
- ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	9月入学	その他の学期	9月入学	その他の学期	9月入学	その他の学期	9月入学	その他の学期					
A	入学定員		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.81倍	-	0.81倍	-	合格者数について：本専攻は7大学が構成する欧州連合Erasmusの協定に基づき認定された国際修士専攻制度を課程として実施している。大学連合が定める授業料が低廉な為、多くの学生は奨学金を申請するが採用率は低く、過去の実績では合格者のうち奨学金不採用者の比率は常に80-90%を越える。したがって左記のとおり定員を上回る合格者を出しているが、合格者への通知は、定員を大幅に超過しないよう細心の注意を払いながら複数回に分けて行っている。本年度の入学者数は5月現在未確定。
	志願者数		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	106	(-)	146	(-)	238	(-)					
	受験者数		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	106	(-)	146	(-)	238	(-)					
	合格者数		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	56	(-)	61	(-)	53	(-)					
B	入学者数		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	4	(-)	9	(-)	未確定	(-)					
	入学定員超過率 B/A		-	-	-	-	-	-	0.50	-	1.12	-	未確定	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「-」を記入してください。
- ・ 「その他の学期」に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例) 「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	9月入学	その他の学期	9月入学	その他の学期	9月入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	5 [4] (—)	— [—] (—)	9 [8] (—)	— [—] (—)	未確定 [未確定] (—)	— [—] (—)	令和3年度入学者について、5名のうち1名は転専攻学生 令和5年度1年次の状況について空欄理由： (5)-②備考欄にて記述のとおり、本専攻への志願者の多くは、専攻への出願と同時にErasmus Mundus奨学制度に応募している。結果については、専攻の可否および異学生採否の通知を段階的に行い、定員を大幅に超過しないよう、合格者への通知は、複数回に分けて行っている。また、通知後合格者が仮入学手続き (Depositの支払い) を行う期間およびその後辞退する期間を設けている。これらの運用制度上、入学者の最終確定に至るまで期間を要するため、5月現在、入学者数は未確定の状況である。					
2年次	/		— [—] (—)	5 [4] (—)	— [—] (—)	8 [7] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)					
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)				
4年次	/				— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)				
計			— [—] (—)	5 [4] (—)	14 [12] (—)	未確定 [未確定] (未確定)							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「—」を記入してください。
- また、「その他の学期」に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。
- (例) 「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	5人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	14人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	1人	1人	健康上の理由により退学
令和5年度	未確定人	未確定人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	未確定人	未確定人	未確定の理由:前頁【JD】1(5)-③備考欄に記述のとおり
合計		1人		1人	1人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。〔在学者数から退学者数を減らす必要はありません。〕
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{未確定}}{\text{未確定}} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル経済入門	The Globalised Economy		1W	グラスゴー大学	3.5				1					
	Global Varieties of Capitalism		1W	グラスゴー大学	3.5				1	3				
グローバル経済専門Ⅰ	Globalisation and Labour		1W	グラスゴー大学	3				1					
	Technology Transfer in the Global Economy		1W	グラスゴー大学	3				1	1				
重点分野基礎Ⅰ	Latin American Development from Independence to the Present		1W	グラスゴー大学	3					1				
重点分野応用Ⅰ	Innovation in the Middle East and North Africa		1W	グラスゴー大学	3					1				
	小計(6科目)	-			7	12	0	4	2	5	0	0	0	0
クリエイティブ企業・産業	Companies in Emerging Sectors		1S	バルセロナ大学	1				1					
	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics		1S	バルセロナ大学	2				1					
	Family Business: Innovation and Globalisation		1S	バルセロナ大学	1				1					
	Port Cities in Historical Perspective		1S	バルセロナ大学	4				1	1	1			

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル経済入門	The Globalised Economy		1W	グラスゴー大学	3.5				1	1				
	Global Varieties of Capitalism		1W	グラスゴー大学	3.5				1	1	2			
グローバル経済専門Ⅰ	Globalisation and Labour		1W	グラスゴー大学	3				1					
	Technology Transfer in the Global Economy (未開講)		1W	グラスゴー大学	3				1	1				
	Business and Government in the Global Economy		1W	グラスゴー大学	3				1					
重点分野基礎Ⅰ	Diversity of Entrepreneurships (未開講)		1W	グラスゴー大学	3				1					
	Latin American Development from Independence to the Present		1W	グラスゴー大学	3					1				
重点分野応用Ⅰ	Political Economy in the Global South		1W	グラスゴー大学	3						1			
	Globalisation and the Nation State		1W	グラスゴー大学	3						1			
	Innovation in the Middle East and North Africa (未開講)		1W	グラスゴー大学	3					1				
重点分野応用Ⅰ	Sport in Global Economy (未開講)		1W	グラスゴー大学	3						1			
	Nuclear History, Politics and Society		1W	グラスゴー大学	3						1			
	小計(12科目)	-			7	30	0	4	2	9	0	0	0	0
クリエイティブ企業・産業	Companies in Emerging Sectors		1S	バルセロナ大学	1				1					
	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics		1S	バルセロナ大学	2				1					
	Family Business: Innovation and Globalisation		1S	バルセロナ大学	1				1					
	Port Cities in Historical Perspective		1S	バルセロナ大学	4				1	1	1			

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル経済専門Ⅱ	Global Health		1S	バルセロナ大学	2			1						
	Topics in International Economics		1S	バルセロナ大学	2			1						
	Topics in International Politics		1S	バルセロナ大学	2				1					
重点分野基礎Ⅱ	Quantitative Analysis for International Business		1S	バルセロナ大学	1				1					
重点分野応用Ⅱ	Conflict Management in Negotiation		1S	バルセロナ大学	1						1			
キャリアアトレイニング	Practicum (Consultancy Project)		1S	バルセロナ大学	4			1						
	Institutional or Company Placement		1S	バルセロナ大学	4			1						
	小計(11科目)	-			8	16	0	5	6	1	1	0	0	
産業ダイナミクス・サステイナビリティ	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific		2W	京都大学	2			3		2				
	Industries and Global Competition		2W	京都大学	2			2						
	International Development Assistance Policy		2W	京都大学	2				1					1
産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習	On-site Research Training A		2W	京都大学	2			3		3				
	On-site Research Training B		2S	京都大学	2			3		3				
重点分野基礎Ⅲ	Economic History Readings A		2W	京都大学	2			3		1				
	Economic History Readings B		2W	京都大学	2			3		1				
	Comparative Business Ethics		2S	京都大学	2					1				
重点分野応用Ⅲ	Critical Consumption Studies		2W	京都大学	2			1		1				
	International Political Economy of Agriculture		2W	京都大学	2			1						
	International Agribusiness Studies		2S	京都大学	2			1						
重点分野上級	Historical Approaches to Business and Economics A		2W	京都大学	1			1						
	Historical Approaches to Business and Economics B		2W	京都大学	1			1						
	Business History & Industry Studies Readings A		2S	京都大学	2			3						
	Business History & Industry Studies Readings B		2S	京都大学	2			3						

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル経済専門Ⅱ	Global Health		1S	バルセロナ大学	2			1						
	Topics in International Economics		1S	バルセロナ大学	2			1						
	Topics in International Politics		1S	バルセロナ大学	2					0	1			
	Global Political Ecology		1S	バルセロナ大学	2						1			
重点分野基礎Ⅱ	Quantitative Analysis for International Business		1S	バルセロナ大学	1				1					
重点分野応用Ⅱ	Conflict Management in Negotiation		1S	バルセロナ大学	1							1		
キャリアアトレイニング	Practicum (Consultancy Project)		1S	バルセロナ大学	4			1						
	Institutional or Company Placement		1S	バルセロナ大学	4			1						
	小計(12科目)	-			8	16	0	5	4	3	1	0	0	
産業ダイナミクス・サステイナビリティ	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific		2W	京都大学	2			2	1	0	1			
	Industries and Global Competition		2W	京都大学	2			2						
	International Development Assistance Policy		2W	京都大学	2				0					1
産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習	On-site Research Training A		2W	京都大学	2			3		0	1			
	On-site Research Training B		2S	京都大学	2			3		0	1			
重点分野基礎Ⅲ	Economic History Readings A		2W	京都大学	2			3		1	0			
	Economic History Readings B		2W	京都大学	2			3		1	0			
	Critical Consumption Studies		2W	京都大学	2			1			0			
重点分野応用Ⅲ	International Political Economy of Agriculture		2W	京都大学	2			1						
	International Agribusiness Studies		2S	京都大学	2			1						
	Historical Approaches to Business and Economics A		2W	京都大学	1			1						
重点分野上級	Historical Approaches to Business and Economics B		2W	京都大学	1			1						
	Business History & Industry Studies Readings A		2S	京都大学	2			3		1				
	Business History & Industry Studies Readings B		2S	京都大学	2			3		1				

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
重点分野上級														
研究スキル	Advanced Academic Writing & Presentation		2W	京都大学	2			1		2				
	Qualitative Research Methods		2W	京都大学	2								1	
研究Ⅰ	Master Thesis Design		2W	京都大学	2			6	1	2				
	小計(18科目)	-			2	32	0	6	1	3	0	0	1	
研究Ⅱ	Master Thesis Research	○	2S	京都大学、 グラスゴー大学、 バルセロナ大学	10			13	7	5	1			
	小計(1科目)	-			10	0	0	13	7	5	1	0	1	
合計(36科目)		-			27	60	0	15	9	9	1	0	1	
卒業要件及び履修方法														
<p>グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、大学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を修得すること。本学において、科目区分「研究Ⅰ」の「Master Thesis Design」(2単位)を必須科目とする。科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ」より2科目以上を選択履修し4単位以上を、科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ実習」よりAまたはBのいずれかを選択履修し2単位以上を、その他の科目区分より2単位以上を修得すること。</p>														

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Multiple Perspectives on Management		2W	京都大学		1			1					
研究スキル	Advanced Academic Writing & Presentation		2W	京都大学	2				0	1	0			
	Qualitative Research Methods		2W	京都大学	2								1	
研究Ⅰ	Master Thesis Design		2W	京都大学	2				5	2	1	2		
	小計(18科目)	-			2	31	0		5	2	1	2	0	2
研究Ⅱ	Master Thesis Research	○	2S	京都大学、 グラスゴー大学、 バルセロナ大学	10				13	8	4	1		
	小計(1科目)	-			10	0	0		13	8	4	1	0	0
合計(43科目)		-			27	77	0	15	8	12	3	0	2	
卒業要件及び履修方法														
<p>グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、大学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を修得すること。本学において、科目区分「研究Ⅰ」の「Master Thesis Design」(2単位)を必須科目とする。科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ」より2科目以上を選択履修し4単位以上を、科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ実習」よりAまたはBのいずれかを選択履修し2単位以上を、その他の科目区分より2単位以上を修得すること。</p>														

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル経済入門	The Globalised Economy		1W	グラスゴー大学	3.5			1	0					
	Global Varieties of Capitalism		1W	グラスゴー大学	3.5			1	1	2				
グローバル経済専門Ⅰ	Globalisation and Labour (未開講)		1W	グラスゴー大学	3			1						
	Technology Transfer in the Global Economy		1W	グラスゴー大学	3			1	1					
	Business and Government in the Global Economy	1W	グラスゴー大学	3			1							
	Diversity of Entrepreneurships	1W	グラスゴー大学	3			1							
重点分野基礎Ⅰ	Latin American Development from Independence to the Present (未開講)		1W	グラスゴー大学	3				1					
	Political Economy in the Global South	1W	グラスゴー大学	3				1						
	Globalisation and the Nation State	1W	グラスゴー大学	3				1						
重点分野応用Ⅰ	Innovation in the Middle East and North Africa (未開講)		1W	グラスゴー大学	3				1					
	Sport in Global Economy	1W	グラスゴー大学	3				1						
	小計(11科目)	-			7	27	0	4	2	8	0	0	0	
クリエイティブ企業・産業	Companies in Emerging Sectors	1S	バルセロナ大学	1				1						
	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics	1S	バルセロナ大学	2				1						
	Family Business: Innovation and Globalisation	1S	バルセロナ大学	1				1						
	Port Cities in Historical Perspective	1S	バルセロナ大学	4				1	1	1				
グローバル経済専門Ⅱ	Global Health	1S	バルセロナ大学	2				1						
	Topics in International Economics	1S	バルセロナ大学	2				1						
	Global Political Ecology	1S	バルセロナ大学	2				1						
重点分野基礎Ⅱ	Quantitative Analysis for International Business	1S	バルセロナ大学	1				1						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル経済入門	The Globalised Economy		1W	グラスゴー大学	3.5			1	0					
	Global Varieties of Capitalism		1W	グラスゴー大学	3.5			1	1	2				
グローバル経済専門Ⅰ	Globalisation and Labour (未開講)		1W	グラスゴー大学	3			1						
	Technology Transfer in the Global Economy		1W	グラスゴー大学	3			1	1					
	Business and Government in the Global Economy	1W	グラスゴー大学	3			1							
重点分野基礎Ⅰ	Latin American Development from Independence to the Present (未開講)		1W	グラスゴー大学	3				1					
	Issues in Global Political Economy	1W	グラスゴー大学	3				1						
	Innovation in the Middle East and North Africa	1W	グラスゴー大学	3				1						
	小計(8科目)	-			7	18	0	4	2	6	0	0	0	
クリエイティブ企業・産業	Companies in Emerging Sectors	1S	バルセロナ大学	1				1						
	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics	1S	バルセロナ大学	2				1						
	Family Business: Innovation and Globalisation	1S	バルセロナ大学	1				1						
	Port Cities in Historical Perspective	1S	バルセロナ大学	4				1	1	1				
グローバル経済専門Ⅱ	Global Health	1S	バルセロナ大学	2				1						
	Topics in International Economics	1S	バルセロナ大学	2				1						
	Global Political Ecology	1S	バルセロナ大学	2				1						
重点分野基礎Ⅱ	Quantitative Analysis for International Business	1S	バルセロナ大学	1				1						

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
重点分野応用Ⅱ	Conflict Management in Negotiation		1S	バルセロナ大学	1						1		
	Practicum (Consultancy Project)		1S	バルセロナ大学	4		1						
	Institutional or Company Placement		1S	バルセロナ大学	4		1						
	小計(11科目)	-			8	16	0	5	4	2	1	0	0
産業ダイナミクス・サステナビリティ	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific		2W	京都大学	2		3	1	0				
	Industries and Global Competition		2W	京都大学	2		2						
	International Development Assistance Policy		2W	京都大学	2		0					1	
産業ダイナミクス・サステナビリティ実習	On-site Research Training A		2W	京都大学	2		3	0	1				
	On-site Research Training B		2S	京都大学	2		3	0	1				
重点分野基礎Ⅲ	Economic History Readings A		2W	京都大学	2		3	1	0				
	Economic History Readings B		2W	京都大学	2		3	1	0				
重点分野応用Ⅲ	Critical Consumption Studies		2W	京都大学	2		1		0				
	International Political Economy of Agriculture		2W	京都大学	2		1						
	International Agribusiness Studies		2S	京都大学	2		1						
重点分野上級	Historical Approaches to Business and Economics A		2W	京都大学	1		1						
	Historical Approaches to Business and Economics B		2W	京都大学	1		1						
	Business History & Industry Studies Readings A(未開講)		2S	京都大学	2		3						
	Business History & Industry Studies Readings B		2S	京都大学	2		3						
	Multiple Perspectives on Management		2W	京都大学	1		1						

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
重点分野応用Ⅱ	Conflict Management in Negotiation		1S	バルセロナ大学	1						1		
	Practicum (Consultancy Project)		1S	バルセロナ大学	4		1						
	Institutional or Company Placement		1S	バルセロナ大学	4		1						
	小計(11科目)	-			8	16	0	5	5	2	1	0	0
産業ダイナミクス・サステナビリティ	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific		2W	京都大学	2		3	1	0				
	Industries and Global Competition		2W	京都大学	2		2						
	International Development Assistance Policy		2W	京都大学	2		2	1	0				
産業ダイナミクス・サステナビリティ実習	On-site Research Training A		2W	京都大学	2		3	1	0	1			
	On-site Research Training B		2S	京都大学	2		3	1	0	1			
重点分野基礎Ⅲ	Economic History Readings A		2W	京都大学	2		3	1	0				
	Economic History Readings B		2W	京都大学	2		3	1	0				
重点分野応用Ⅲ	Critical Consumption Studies		2W	京都大学	2		1		0				
	International Political Economy of Agriculture		2W	京都大学	2		1						
	International Agribusiness Studies		2S	京都大学	2		1						
重点分野上級	Historical Approaches to Business and Economics A		2W	京都大学	1		1						
	Historical Approaches to Business and Economics B		2W	京都大学	1		1						
	Business History & Industry Studies Readings A		2S	京都大学	2		3						
	Business History & Industry Studies Readings B		2S	京都大学	2		3						

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究スキル	Advanced Academic Writing & Presentation		2W	京都大学	2			0	1	0						
	Qualitative Research Methods		2W	京都大学	2									1		
研究Ⅰ	Master Thesis Design		2W	京都大学	2			6	2	1	1					
	小計(18科目)	-			2	31	0	6	2	1	1	0	2			
研究Ⅱ	Master Thesis Research	○	2S	京都大学、 グラスゴー大学、 バルセロナ大学	10			13	8	4	2					
	小計(1科目)	-			10	0	0	13	8	4	2	0	0			
合計(41科目)					-			27	74	0	15	8	11	2	0	2
卒業要件及び履修方法																
<p>グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、本学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を修得すること。本学において、科目区分「研究Ⅰ」の「Master Thesis Design」(2単位)を必須科目とする。科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ」より2科目以上を選択履修し4単位以上を、科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ実習」よりAまたはBのいずれかを選択履修し2単位以上を、その他の科目区分より2単位以上を修得すること。</p>																

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究スキル	Advanced Academic Writing & Presentation		2W	京都大学	2			1	1	0						
	Qualitative Research Methods		2W	京都大学	2									1		
研究Ⅰ	Master Thesis Design		2W	京都大学	2			6	2	1	1					
	小計(17科目)	-			2	30	0	6	2	1	1	0	1			
研究Ⅱ	Master Thesis Research	○	2S	京都大学、 グラスゴー大学、 バルセロナ大学	10			13	8	4	2					
	小計(1科目)	-			10	0	0	13	8	4	2	0	1			
合計(37科目)					-			27	64	0	15	9	9	2	0	1
卒業要件及び履修方法																
<p>グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、本学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を修得すること。本学において、科目区分「研究Ⅰ」の「Master Thesis Design」(2単位)を必須科目とする。科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ」より2科目以上を選択履修し4単位以上を、科目区分「産業ダイナミクス・サステナビリティ実習」よりAまたはBのいずれかを選択履修し2単位以上を、その他の科目区分より2単位以上を修得すること。</p>																

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の3)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- The Globalised Economy: 専任教員配置の変更: 准教授1名から教授1名に担当教員変更
- Global Varieties of Capitalism: 専任教員配置の変更: 講師1名の准教授昇格で講師1名減, 准教授1名増
- Technology Transfer in the Global Economy: 専任教員配置の変更: 教授1名の研究休暇により教授1名減, 講師1名担当で開講
- Business and Government in the Global Economy: 新規開講: Globalisation and Labour未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Issues in Global Economy: 新規開講: Latin American Development from Independence to the Present未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Global Political Ecology: 新規開講: Topics in International Politics 担当講師転出により科目廃止となった為、別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Economic Development and Policy in the Asia-Pacific: 専任教員配置の変更: 講師1名転出, 講師1名の准教授昇格により講師2名減, 准教授1名増
- International Development Assistance Policy: 専任教員配置の変更: 講師1名転出により教授1名担当に変更
- On-site Research Training A: 専任教員配置の変更: 講師2名転出, 講師1名の准教授昇格, 助教1名採用により講師3名減, 准教授1名増, 助教1名増
- On-site Research Training B: 専任教員配置の変更: 講師2名転出, 講師1名の准教授昇格, 助教1名採用により講師3名減, 准教授1名増, 助教1名増
- Economic History Readings A: 専任教員配置の変更: 講師1名の准教授昇格により講師1名減, 准教授1名増
- Economic History Readings B: 専任教員配置の変更: : 講師1名の准教授昇格により講師1名減, 准教授1名増
- Critical Consumption Studies: 専任教員配置の変更: 講師1名転出により講師1名減
- Advanced Academic Writing & Presentation: 専任教員配置の変更: 講師1名転出、講師1名の准教授昇格により講師2名減, 准教授1名増
- Master Thesis Design: 専任教員配置の変更: 講師2名転出, 1名准教授昇格, 助教1名採用により講師3名減, 准教授1名増, 助教1名増
- Master Thesis Research: 専任教員配置の変更: 各大学の転入, 転出等により講師1名減, 准教授1名増, 助教1名増

【令和4年度】

- Issues in Global Political Economy: 科目名変更: Political Economy in the Global Southとして開講
- Sport in the Global Economy: 新規開講: Innovation in the Middle East and North Africa未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Globalisation and the Nation State: 新規開講: Latin American Development from Independenceto the Present未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Diversity of Entrepreneurships: 新規開講: Globalisation and Labour未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- International Development Assistance Policy: 専任教員配置の変更: 教授1名から兼担特定助教1名に担当教員変更
- Multiple Perspectives on Management: 新規開講: Business History & Industry Studies Readings A未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Advanced Academic Writing & Presentation: 専任教員配置の変更: 担当教員より教授1名減
- On-site Research Training A: 専任教員配置の変更: 担当教員より准教授1名減
- On-site Research Training B: 専任教員配置の変更: 担当教員より准教授1名減

【令和5年度】

- The Globalised Economy: 専任教員配置の変更: 准教授1名増
- Nuclear History, Politics and Society: 新規開講: Innovation in the Middle East and North Africa未開講につき別科目であるがカリキュラム上代替的な科目として開講
- Topics in International Politics (今年度より再開講): 専任教員配置の変更: 准教授1名から講師1名に担当教員変更
- Economic Development and Policy in the Asia-Pacific: 専任教員配置の変更: 教授1名から特定助教1名に変更
- Business History & Industry Studies Readings A: 専任教員設置の変更: 准教授1名を追加
- Business History & Industry Studies Readings B: 専任教員設置の変更: 准教授1名を追加
- Master Thesis Design: 専任教員設置の変更: 教授1名の担当免により教授1名減、特定助教1名増
- Master Thesis Research: 専任教員設置の変更: 特定助教1名の担当免により特定助教1名減

- (注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度 (令和4年度開設であれば令和3年度以前) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
京都大学	1 科目	17 科目	0 科目	18 科目	1 科目 [0]	17 科目 [0]	0 科目 [0]	18 科目 [0]	
グラスゴー大学	2 科目	4 科目	0 科目	6 科目	2 科目 [0]	10 科目 [6]	0 科目 [0]	12 科目 [6]	
バルセロナ大学	4 科目	7 科目	0 科目	11 科目	4 科目 [0]	8 科目 [1]	0 科目 [0]	12 科目 [1]	
共同開設科目	1 科目	0 科目	0 科目	1 科目	1 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	1 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	京都大学						該当なし
2	グラスゴー大学	Technology Transfer in the Global Economy	3	1W		選択	グラスゴー大学での開講期間の変更により未開講。代替措置として「グローバル経済専門I」の選択科目として同一単位数の「Business and Government in the Global Economy」を開講
3	グラスゴー大学	Diversity of Entrepreneurships	3	1W		選択	グラスゴー大学での開講期間の変更により未開講。代替措置として「グローバル経済専門I」の選択科目として同一単位数の「Business and Government in the Global Economy」を開講
4	グラスゴー大学	Innovation in the Middle East and North Africa	3	1W		選択	担当講師研究休暇により未開講。代替措置として「重点分野応用I」の選択科目として同一単位数の「Nuclear History, Politics and Society」を新規開講
5	グラスゴー大学	Sport in Global Economy	3	1W		選択	担当講師研究休暇により未開講。代替措置として「重点分野応用I」の選択科目として同一単位数の「Nuclear History, Politics and Society」を新規開講
6	バルセロナ大学						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	京都大学						該当なし
2	グラスゴー大学						該当なし
3	バルセロナ大学						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：グラスゴー大学の未開講の科目はいずれも選択科目であり、また代替措置として同一科目区・同一開講時期かつ内容的にも代替的な科目がそれぞれ開講する予定であり、学生の履修への影響はない。
 学生への周知方法：募集時にこれら選択科目では科目変更の可能性があることが告知されている。入学ガイダンス・バルセロナ大学での学期初ガイダンス、および、授業を開講するグラスゴー大学・バルセロナ大学の各オンライン教務システムで周知が行われる。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{36} = \boxed{11.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の整備のため (5)		
	校舎敷地	791,952 m ² 795,015 m²	0 m ²	0 m ²	791,952 m ² 795,015 m²			
	運動場用地	113,173 m ²	0 m ²	0 m ²	113,173 m ²			
	小 計	905,125 m ² 908,188 m²	0 m ²	0 m ²	905,125 m ² 908,188 m²			
	そ の 他	143,427 m ²	0 m ²	0 m ²	143,427 m ²			
	合 計	1,048,552 m ² 1,051,615 m²	0 m ²	0 m ²	1,048,552 m ² 1,051,615 m²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の整備のため(5) 校舎の整備のため(4)			
	1,190,017 m ² 1,189,393 m² 1,186,494 m ² (1,186,494 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	1,190,017 m ² 1,189,393 m² 1,186,494 m ² (1,186,494 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の整備のため (5) 教室等の整備のため (4)		
	279 262 257 室	274 296 304 室	1,018 901 916 室	16 18 17 室 (補助職員 3人) (補助職員 4人)	2 7 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	京都大学国際連携・グローバル経済・地域創造専攻			10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の共有分を含む
	京都大学国際連携・グローバル経済・地域創造専攻	7,239,195 [3,391,205] (7,366,474 [3,444,461]) (7,305,228 [3,416,273]) (7,239,195 [3,391,205])	176,087 [107,694] (181,025 [111,354]) (178,532 [109,439]) (176,087 [107,694])	51,045 [49,455] (53,084 [51,373]) (51,673 [50,037]) (51,045 [49,455])	17,053 (18,110) (18,333) (17,053)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)	
	計	7,239,195 [3,391,205] (7,366,474 [3,444,461]) (7,305,228 [3,416,273]) (7,239,195 [3,391,205])	176,087 [107,694] (181,025 [111,354]) (178,532 [109,439]) (176,087 [107,694])	51,045 [49,455] (53,084 [51,373]) (51,673 [50,037]) (51,045 [49,455])	17,053 (18,110) (18,333) (17,053)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	図書館の整備のため (5) 図書館の整備のため (4)				
	53,946 54,325 51,849 m ²	3,050 3,117 3,483 席	8,477,417 8,528,306 8,117,389 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	7,945 m ²	陸上競技場(500mトラック)、テニスコート(9.5面)、バレーボールコート(1面)、野球場・多目的グラウンド・ラグビー場(各1面)、投てき場・アーチェリー場・弓道場・相撲道場・馬場・エアライフル射撃場(各1カ所)、プール(50m×8コース)敷地						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	千円
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京 都 大 学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.0倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.0倍以上の学科数	3
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)								
総合人間学部		年	人	3年次人	人						年度	年度	京都市左京区吉田二本松町					
総合人間学科	4	120	-	480	学士(総合人間学)	1.04	-	1.20	1.09		平成15							
文学部					学士(文学)								京都市左京区吉田本町					
人文学科	4	220	-	880		1.02	1.02	1.16	1.05		平成7							
教育学部					学士(教育学)								京都市左京区吉田本町					
教育科学科	4	60	3年次10	260		1.01	-	1.09	1.04		平成10							
法学部					学士(法学)								京都市左京区吉田本町					
経済学部					学士(経済学)								京都市左京区吉田本町					
経済経営学科	4	240	3年次20	1,000		0.98	0.98	1.07	1.00		平成21							
理学部					学士(理学)								京都市左京区北白川通分町					
理学科	4	311	-	1,244		1.04	1.04	1.13	1.06		平成6							
医学部					学士(医学)								京都市左京区吉田近衛町					
医学科	6	107	-	642		1.01	-	1.03	1.02		明治32							
人間健康科学科	4	100	2年次17	451	学士(人間健康科学)	0.96	-	0.99	0.96		平成20							
薬学部													京都市左京区吉田下阿達町46-29	【薬科学科、薬学科の平均入学定員超過率について】 薬学部は、平成30年度入学より、4年連続時に学科への配属が決定されるため、学科ごとの入学者を算出できない。そのため、平成30年度以降は、入学者を各学科の入学定員の割合で案分し、各学科の入学者を算出(小数点以下2ケタまで)したうえで、定員超過率を計算している。 【薬科学科、薬学科の収容定員充足率、収容定員充足率】 薬学部は、4年連続時に学科への配属が決定されるため、1年次から第3年次までの学生を含めた学科ごとの在学生数を算出できない。そのため、1年次から3年次までの在学生数を1年次から3年次までの収容定員に相当する数で案分し、これに4年次以降の在学生数を加えたうえで、収容定員充足率を計算している。				
薬科学科	4	65	-	260	学士(薬科学)	1.05	-	1.11	1.06		平成18							
薬学科	6	15	-	90	学士(薬学)	1.06	-	1.08	1.01		平成18			定員変更(△15)				
工学部					学士(工学)								京都市左京区吉田本町					
地球工学科	4	185	-	740		1.00	-	1.06	1.01		平成8							
建築学科	4	80	-	320		1.03	-	1.08	1.04		平成8							
物理工学科	4	235	-	940		1.02	1.02	1.07	1.03		平成6							
電気電子工学科	4	130	-	520		1.03	-	1.10	1.05		平成7							
情報学科	4	90	-	360		1.04	-	1.15	1.08		平成7							
工業化学科	4	235	-	940		1.03	-	1.10	1.04		平成5							
農学部					学士(農学)								京都市左京区北白川通分町					
資源生物科学科	4	94	-	376		1.01	-	1.06	1.02		平成13							
応用生命科学科	4	47	-	188		1.02	-	1.04	1.03		平成13							
地域環境工学科	4	37	-	148		1.03	-	1.10	1.06		平成13							
食料・環境経済学科	4	32	-	128		1.05	-	1.12	1.06		平成13							
森林科学科	4	57	-	228		1.03	-	1.06	1.03		平成13							
食品生物科学科	4	33	-	132		1.02	-	1.04	1.03		平成13							
大学全体	-	2,823	57	11,667		-	-	-	-		-							

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 （様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表
 <京都大学>

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	黒澤 隆文 (52) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	黒澤 隆文 (53) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	黒澤 隆文 (54) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	黒澤 隆文 (55) <令和3年9月> 博士(経済学)
		Global Varieties of Capitalism ※									
		Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※
		Industries and Global Competition ※									
		On-site Research Training A ※									
		On-site Research Training B ※									
		Economic History Readings A ※【隔年】									
		Economic History Readings B ※【隔年】									
		Historical Approaches to Business and Economics A 【隔年】			Historical Approaches to Business and Economics A 【隔年】			Historical Approaches to Business and Economics A 【隔年】			Historical Approaches to Business and Economics A 【隔年】
		Historical Approaches to Business and Economics B 【隔年】			Historical Approaches to Business and Economics B 【隔年】			Historical Approaches to Business and Economics B 【隔年】			Historical Approaches to Business and Economics B 【隔年】
		Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】
		Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】
		Advanced Academic Writing & Presentation ※			Advanced Academic Writing & Presentation ※			Multiple Perspectives on Management			Multiple Perspectives on Management
		Master Thesis Design									
		Master Thesis Research									
専	教授	田中 彰 (53) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	田中 彰 (54) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	田中 彰 (55) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	田中 彰 (56) <令和3年9月> 博士(経済学)
		Industries and Global Competition ※									
		On-site Research Training A ※									
		On-site Research Training B ※									
		Economic History Readings A ※【隔年】									
		Economic History Readings B ※【隔年】									
		Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】
		Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】
		Master Thesis Design									
		Master Thesis Research									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	根井 雅弘 (58) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	根井 雅弘 (59) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	根井 雅弘 (60) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	根井 雅弘 (61) <令和3年9月> 博士(経済学)
		Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design
		Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research
専	教授	久野 秀二 (53) <令和3年9月> 博士(農学)	専	教授	久野 秀二 (54) <令和3年9月> 博士(農学)	専	教授	久野 秀二 (55) <令和3年9月> 博士(農学)	専	教授	久野 秀二 (56) <令和3年9月> 博士(農学)
		Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※ International Development Assistance Policy			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※
		On-site Research Training A ※			On-site Research Training A ※			On-site Research Training A ※			On-site Research Training A ※
		On-site Research Training B ※			On-site Research Training B ※			On-site Research Training B ※			On-site Research Training B ※
		Critical Consumption Studies ※			Critical Consumption Studies ※			Critical Consumption Studies ※			Critical Consumption Studies ※
		International Political Economy of Agriculture			International Political Economy of Agriculture			International Political Economy of Agriculture			International Political Economy of Agriculture
		International Agribusiness Studies			International Agribusiness Studies			International Agribusiness Studies			International Agribusiness Studies
		Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design
		Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research
専	教授	矢野 剛 (51) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	矢野 剛 (52) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	矢野 剛 (53) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	矢野 剛 (54) <令和3年9月> 博士(経済学)
		Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design
		Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research
専	教授	渡邊 純子 (55) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	渡邊 純子 (56) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	渡邊 純子 (57) <令和3年9月> 博士(経済学)	専	教授	渡邊 純子 (58) <令和3年9月> 博士(経済学)
		Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※			Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※
		Economic History Readings A ※【隔年】			Economic History Readings A ※【隔年】			Economic History Readings A ※【隔年】			Economic History Readings A ※【隔年】
		Economic History Readings B ※【隔年】			Economic History Readings B ※【隔年】			Economic History Readings B ※【隔年】			Economic History Readings B ※【隔年】
		Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】
		Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】			Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】
		Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design			Master Thesis Design
		Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research			Master Thesis Research

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	WANG, Tao (40) <令和3年9月> PhD (Management) フランス	専	准教授	WANG, Tao (41) <令和3年9月> PhD (Management) フランス	専	准教授	WANG, Tao (42) <令和3年9月> PhD (Management) フランス	専	准教授	WANG, Tao (43) <令和3年9月> PhD (Management) フランス
		Master Thesis Design Master Thesis Research			Master Thesis Design Master Thesis Research			Master Thesis Design Master Thesis Research			Master Thesis Design Master Thesis Research
専	講師	IVINGS, Steven Edward (37) <令和3年9月> 博士 (経済史学)	専	准教授	IVINGS, Steven Edward (38) <令和3年9月> 博士 (経済史学)	専	准教授	IVINGS, Steven Edward (39) <令和3年9月> 博士 (経済史学)	専	准教授	IVINGS, Steven Edward (40) <令和3年9月> 博士 (経済史学)
		Global Varieties of Capitalism ※ Economic Development and Policy in the Asia- Pacific ※ On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※ Economic History Readings A ※【隔年】 Economic History Readings B ※【隔年】 Advanced Academic Writing & Presentation ※ Master Thesis Design Master Thesis Research			Global Varieties of Capitalism ※ Economic Development and Policy in the Asia- Pacific ※ On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※ Economic History Readings A ※【隔年】 Economic History Readings B ※【隔年】 Advanced Academic Writing & Presentation ※ Master Thesis Design Master Thesis Research			Global Varieties of Capitalism ※ Economic Development and Policy in the Asia- Pacific ※ Economic History Readings A ※【隔年】 Economic History Readings B ※【隔年】 Advanced Academic Writing & Presentation ※ Master Thesis Design Master Thesis Research			Global Varieties of Capitalism ※ Economic Development and Policy in the Asia- Pacific ※ Economic History Readings A ※【隔年】 Economic History Readings B ※【隔年】 Advanced Academic Writing & Presentation ※ Business History & Industry Studies Readings A ※【隔年】 Business History & Industry Studies Readings B ※【隔年】 Master Thesis Design Master Thesis Research
専 (調)	講師	久野 (小田) 愛 (40) <令和3年9月> 博士 (歴史学)									
		Economic Development and Policy in the Asia- Pacific ※ On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※ Comparative Business Ethics Critical Consumption Studies ※ Advanced Academic Writing & Presentation ※ Master Thesis Design Master Thesis Research									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	講師	RALANDISON, Tsilavo (44) <令和3年9月> 博士(農学) International Development Assistance Policy On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※									
			専	講師	馬 騰 (35) <令和3年9月> Master Thesis Design Master Thesis Research	専	講師	馬 騰 (36) <令和3年9月> Master Thesis Design Master Thesis Research	専	講師	馬 騰 (37) <令和3年9月> Master Thesis Design Master Thesis Research
			専(調)	助教	羽田 祥子 (51) <令和3年9月> On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※ Master Thesis Design Master Thesis Research	専(調)	助教	羽田 祥子 (52) <令和3年9月> On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※ Master Thesis Design Master Thesis Research	専(調)	助教	羽田 祥子 (53) <令和3年9月> On-site Research Training A ※ On-site Research Training B ※ Master Thesis Design
									専	助教	Yong Yen Nie (39) <令和4年10月> Master Thesis Design Economic Development and Policy in the Asia-Pacific ※
兼担	講師	FEUER, Hart Nadav (38) <令和3年9月> Qualitative Research Methods	兼担	講師	FEUER, Hart Nadav (39) <令和3年9月> Qualitative Research Methods	兼担	准教授	FEUER, Hart Nadav (40) <令和3年9月> Qualitative Research Methods	兼担	准教授	FEUER, Hart Nadav (41) <令和3年9月> Qualitative Research Methods
						兼担	助教	小林 舞 (38) <令和3年9月> International Development Assistance Policy	兼担	助教	小林 舞 (39) <令和3年9月> International Development Assistance Policy

<グラスゴー大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
	外国 教授相当	Jeff Fear <令和3年9月> Master Thesis Research		外国 教授相当	Jeff Fear <令和3年9月> The Globalised Economy Master Thesis Research		外国 教授相当	Jeff Fear <令和4年9月> The Globalised Economy Diversity of Entrepreneurships Master Thesis Research		外国 教授相当	Jeff Fear <令和5年9月> The Globalised Economy Diversity of Entrepreneurships Master Thesis Research
	外国 教授相当	Jim Tomlinson <令和3年9月> Master Thesis Research		外国 教授相当	Jim Tomlinson <令和3年9月> Master Thesis Research		外国 教授相当	Jim Tomlinson <令和4年9月> Master Thesis Research		外国 教授相当	Jim Tomlinson <令和5年9月> Master Thesis Research

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Neil Rollings <令和3年9月>
		Master Thesis Research
外国	教授相当	Ray Stokes <令和3年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国(調)	准教授相当	Duncan Ross <令和3年9月>
		The Globalised Economy Master Thesis Research
外国	准教授相当	Jim Phillips <令和3年9月>
		Globalisation and Labour Master Thesis Research
外国	講師相当	Christopher Miller <令和3年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国	講師相当	Hannah-Louise Clark <令和3年9月>
		Innovation in the Middle East and North Africa Master Thesis Research
外国	講師相当	Helen Yaffe <令和3年9月>
		Latin American Development from Independence to the Present Master Thesis Research
外国	講師相当	Jan Logemann <令和3年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Robert Bernsee <令和3年9月>
		Global Varieties of Capitalism※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Neil Rollings <令和3年9月>
		Business and Government in the Global Economy Master Thesis Research
外国	教授相当	Ray Stokes <令和3年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国(調)	准教授相当	Duncan Ross <令和3年9月>
		Master Thesis Research
外国	准教授相当	Jim Phillips <令和3年9月>
		Globalisation and Labour Master Thesis Research
外国	講師相当	Christopher Miller <令和3年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国	講師相当	Hannah-Louise Clark <令和3年9月>
		Innovation in the Middle East and North Africa Master Thesis Research
外国	講師相当	Helen Yaffe <令和3年9月>
		Latin American Development from Independence to the Present Master Thesis Research
外国	講師相当	Jan Logemann <令和3年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Robert Bernsee <令和3年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Allan Gillies <令和3年9月>
		Issues in Global Political Economy

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Neil Rollings <令和4年9月>
		Business and Government in the Global Economy Master Thesis Research
外国	教授相当	Ray Stokes <令和4年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国(調)	准教授相当	Duncan Ross <令和4年9月>
		Master Thesis Research
外国	准教授相当	Jim Phillips <令和4年9月>
		Globalisation and Labour Master Thesis Research
外国	講師相当	Christopher Miller <令和4年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国	講師相当	Hannah-Louise Clark <令和4年9月>
		Innovation in the Middle East and North Africa Master Thesis Research
外国	講師相当	Helen Yaffe <令和4年9月>
		Latin American Development from Independence to the Present Master Thesis Research
外国	講師相当	Jan Logemann <令和4年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Robert Bernsee <令和4年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Allan Gillies <令和4年9月>
		Issues in Global Political Economy

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Neil Rollings <令和5年9月>
		Business and Government in the Global Economy Master Thesis Research
外国	教授相当	Ray Stokes <令和5年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国(調)	准教授相当	Duncan Ross <令和5年9月>
		The Globalised Economy Master Thesis Research
外国	准教授相当	Jim Phillips <令和5年9月>
		Globalisation and Labour Master Thesis Research
外国	講師相当	Christopher Miller <令和5年9月>
		Technology Transfer in the Global Economy※ Master Thesis Research
外国	講師相当	Hannah-Louise Clark <令和5年9月>
		Innovation in the Middle East and North Africa Master Thesis Research
外国	講師相当	Helen Yaffe <令和5年9月>
		Latin American Development from Independence to the Present Master Thesis Research
外国	講師相当	Jan Logemann <令和5年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Robert Bernsee <令和5年9月>
		Global Varieties of Capitalism※
外国	講師相当	Allan Gillies <令和5年9月>
		Issues in Global Political Economy

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
外国	講師相当	Souvik Naha <令和4年9月> Sport in the Global Economy
外国	講師相当	Matteo Landoni <令和4年9月> Globalisation and Nation State

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
外国	講師相当	Souvik Naha <令和5年9月> Sport in the Global Economy
外国	講師相当	Maria Styve <令和5年9月> Globalisation and Nation State
外国	講師相当	Jay Sarkar <令和5年9月> Nuclear History, Politics and Society

<バルセロナ大学>
【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国(調)	教授相当	Elisenda Paluzie Hernandez <令和3年9月> Practicum (Consultancy Project) Institutional or Company Placement Master Thesis Research
外国	教授相当	Juan Tugores Ques <令和3年9月> Topics in International Economics Master Thesis Research
外国	教授相当	Nuria Casamitjana Badia <令和3年9月> Global Health
外国	教授相当	Paloma Fernandez Perez <令和3年9月> Family Business: Innovation and Globalisation Master Thesis Research
外国	准教授相当	Javier Manuel Romani Fernandez <令和3年9月> Quantitative Analysis for International Business Master Thesis Research
外国	准教授相当	Josep Lladós Masllorens <令和3年9月> Master Thesis Research
外国	准教授相当	Maria Esther Hormiga Perez <令和3年9月> Companies in Emerging Sectors Master Thesis Research

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国(調)	教授相当	Elisenda Paluzie Hernandez <令和3年9月> Practicum (Consultancy Project) Institutional or Company Placement Master Thesis Research
外国	教授相当	Juan Tugores Ques <令和3年9月> Topics in International Economics Master Thesis Research
外国	教授相当	Nuria Casamitjana Badia <令和3年9月> Global Health
外国	教授相当	Paloma Fernandez Perez <令和3年9月> Family Business: Innovation and Globalisation Master Thesis Research
外国	准教授相当	Javier Manuel Romani Fernandez <令和3年9月> Quantitative Analysis for International Business Master Thesis Research
外国	准教授相当	Josep Lladós Masllorens <令和3年9月> Master Thesis Research
外国	准教授相当	Maria Esther Hormiga Perez <令和3年9月> Companies in Emerging Sectors Master Thesis Research

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国(調)	教授相当	Elisenda Paluzie Hernandez <令和4年9月> Practicum (Consultancy Project) Institutional or Company Placement Master Thesis Research
外国	教授相当	Juan Tugores Ques <令和4年9月> Topics in International Economics Master Thesis Research
外国	教授相当	Nuria Casamitjana Badia <令和4年9月> Global Health
外国	教授相当	Paloma Fernandez Perez <令和4年9月> Family Business: Innovation and Globalisation Master Thesis Research
外国	准教授相当	Javier Manuel Romani Fernandez <令和4年9月> Quantitative Analysis for International Business Master Thesis Research
外国	准教授相当	Josep Lladós Masllorens <令和4年9月> Master Thesis Research
外国	准教授相当	Maria Esther Hormiga Perez <令和4年9月> Companies in Emerging Sectors Master Thesis Research

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国(調)	教授相当	Elisenda Paluzie Hernandez <令和5年9月> Practicum (Consultancy Project) Institutional or Company Placement Master Thesis Research
外国	教授相当	Juan Tugores Ques <令和5年9月> Topics in International Economics Master Thesis Research
外国	教授相当	Nuria Casamitjana Badia <令和5年9月> Global Health
外国	教授相当	Paloma Fernandez Perez <令和5年9月> Family Business: Innovation and Globalisation Master Thesis Research
外国	准教授相当	Javier Manuel Romani Fernandez <令和5年9月> Quantitative Analysis for International Business Master Thesis Research
外国	准教授相当	Josep Lladós Masllorens <令和5年9月> Master Thesis Research
外国	准教授相当	Maria Esther Hormiga Perez <令和5年9月> Companies in Emerging Sectors Master Thesis Research

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名									
	外国 准教授相当	Montserrat Pareja-Eastaway <令和3年9月> Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics Master Thesis Research		外国 准教授相当	Montserrat Pareja-Eastaway <令和3年9月> Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics Master Thesis Research		外国 准教授相当	Montserrat Pareja-Eastaway <令和4年9月> Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics Master Thesis Research		外国 准教授相当	Montserrat Pareja-Eastaway <令和5年9月> Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics Master Thesis Research
	外国 准教授相当	Sonia Andolz Rodriguez <令和3年9月> Topics in International Politics									
	外国 助教相当	Patricia Elgoibar Esteban <令和3年9月> Conflict Management in Negotiation Master Thesis Research		外国 助教相当	Patricia Elgoibar Esteban <令和3年9月> Conflict Management in Negotiation Master Thesis Research		外国 助教相当	Patricia Elgoibar Esteban <令和4年9月> Conflict Management in Negotiation Master Thesis Research		外国 助教相当	Patricia Elgoibar Esteban <令和5年9月> Conflict Management in Negotiation Master Thesis Research
	外国 教授相当	Hein Klemann <令和3年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 教授相当	Hein Klemann <令和3年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 教授相当	Hein Klemann <令和4年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 教授相当	Hein Klemann <令和5年9月> Port Cities in Historical Perspective ※
	外国 准教授相当	Paul T. van de Laar <令和3年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 准教授相当	Paul T. van de Laar <令和3年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 准教授相当	Paul T. van de Laar <令和4年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 准教授相当	Paul T. van de Laar <令和5年9月> Port Cities in Historical Perspective ※
	外国 講師相当	Maarten van Dijck <令和3年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 講師相当	Maarten van Dijck <令和3年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 講師相当	Maarten van Dijck <令和4年9月> Port Cities in Historical Perspective ※		外国 講師相当	Maarten van Dijck <令和5年9月> Port Cities in Historical Perspective ※
	外国 講師相当	Federico Demaria <令和3年9月> Global Political Ecology		外国 講師相当	Federico Demaria <令和3年9月> Global Political Ecology		外国 講師相当	Federico Demaria <令和4年9月> Global Political Ecology		外国 講師相当	Federico Demaria <令和5年9月> Global Political Ecology
	外国 講師相当	Macarena Ares Abalde <令和5年9月> Topics in International Politics									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<京都大学>

【令和3年度】

- ・令和3年4月1日付けIvings Steven Edward講師が准教授へ昇進。
- ・令和3年3月31日付け久野愛講師辞職。後任として、令和3年9月15日付け羽田祥子助教が着任。On-site Research Training A、On-site Research Training B、Master Thesis Design及びMaster Thesis Research担当。
- ・R3.10カナダBrock University 研究員として着任のため、Ralandison Tsilavo講師が就任辞退（令和3年9月30日付け辞職）。後任として、令和3年9月15日付け馬騰講師着任。Master Thesis Design及びMaster Thesis Research担当。
- ・久野秀二教授の担当科目に「International Development Assistance Policy」を追加。

【令和4年度】

- ・令和3年10月1日付け小林舞特定助教（兼任教員）が着任。
- ・科目「International Development Assistance Policy」の担当を久野秀二教授相当から小林舞特定助教相当へ変更。
- ・黒澤隆文教授の担当科目に「Multiple Perspectives on Management」を追加。
- ・科目「Qualitative Research Methods」担当のFEUER, Hart Nadav講師（兼任教員）が准教授（兼任教員）へ昇進（令和4年4月1日付）。
- ・黒澤隆文教授の担当科目「Advanced Academic Writing & Presentation」の担当免
- ・IVINGS, Steven Edward准教授の担当科目「On-site Research Training AJ」の担当免
- ・IVINGS, Steven Edward准教授の担当科目「On-site Research Training B」の担当免

【令和5年度】

- ・令和4年10月1日付けYong Yen Nie特定助教が着任。
- ・科目「Economic Development and Policy in the Asia-Pacific」の担当教員のうち1名久野秀二教授からYong Yen Nie特定助教へ変更。
- ・科目「Business History & Industry Studies Readings AJ」の担当教員にIVINGS, Steven Edward准教授を追加
- ・科目「Business History & Industry Studies Readings BJ」の担当教員にIVINGS, Steven Edward准教授を追加
- ・根井雅弘教授の担当科目「Master Thesis Design」の担当免
- ・科目「Master Thesis Design」の担当教員にYong Yen Nie特定助教を追加
- ・羽田祥子特定助教の担当科目「Master Thesis Research」の担当免

<グラスゴー大学>

【令和3年度】

- ・科目「The Globalised Economy」の担当をDuncan Ross准教授相当からJeffrey Fear教授相当へ変更。
- ・新規科目「Business and Government in the Global Economy」をNeil Rollings教授相当が担当。
- ・新規科目「Issues in Global Economy」をAllan Gillies講師相当が担当。

【令和4年度】

- ・新規科目「Sport in the Global Economy」をSouvik Naha講師相当が担当。
- ・新規科目「Globalisation and the Nation State」をMatteo Landoni講師相当が担当。
- ・新規科目「Diversity of Entrepreneurships」をJeff Fear教授相当が担当。

【令和5年度】

- ・科目「The Globalised Economy」の担当教員にDuncan Ross准教授を追加
- ・科目「Globalisation and the Nation State」の担当をMatteo Landoni講師からMaria Styve講師へ変更。
- ・新規科目「Nuclear History, Politics and Society」をJay Sarkar講師が担当。

<バルセロナ大学>

【令和3年度】

- ・Sonia Andolz Rodriguez准教授相当辞職。同准教授相当が担当していたTopics in International Politicsのカリキュラム上代替的な科目である新規科目「Global Political Ecology」を後任として着任のFederico Demaria講師相当が担当。

【令和4年度】

- ・該当なし

【令和5年度】

- ・令和3年度廃止科目「Topics in International Politics」が今年度より再開講となりMacarena Ares Abalde講師が担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
5	4	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
6	1	3	0	10	0	6	2	1	2	11	0
(6)	(2)	(1)	(1)	(10)	(0)						
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
10	6	0	0			11	6	0	0		
(10)	(6)	(0)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
6	2	1	2	11	0	6	2	1	2	11	0
[0]	[1]	[Δ2]	[2]	[1]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[2]	[1]	[0]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
11	6	0	0			11	6	0	0		
[1]	[0]	[0]	[0]			[1]	[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時 (上記 (B)) の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時 (上記 (C)) の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在 (報告時) の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{10} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和2年)	学生納付金や渡航費など、本専攻に所属する学生が負担する各種費用が、学生の国籍、成績等に応じて変動することについて、その内容や趣旨を確実に周知するとともに、負担額が多額となる学生に対しては、奨学金等の支援措置を活用するなど、可能な限り学生間の費用負担が公平となるよう努めること。	【認可】 遵守事項 [周知]学生募集窓口である7大学コンソーシアム学生募集サイトに、国籍・居住地・成績等ごとの学生納付金・渡航費につき揭示し、また応募者に対する個別連絡により通知を実施。追加的に、京都大学に開設した本専攻のホームページに日本語・英語の双方での説明を掲載（9月25日公開済み）。 [支援措置]「学修奨励金取扱要領」を定め、学生間の費用負担格差の縮小を目的に、部局に対する寄付金を財源に月あたり2万5000円～13万円を学生に給付する奨学制度を設けた。（4）（5）	履行済
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (是正) [周知]同上 [支援措置]本専攻は令和4年度JASSO海外留学支援制度（協定派遣・受入）に申請し採択された。成績優秀かつ家計費基準を満たす者に月当たり8万円を支給する。（上記学修奨励金と併給可） 協定派遣対象：2022年度入学の日本人 協定受入対象：2021年度入学の日本人以外 本件について、本専攻のホームページに日本語・英語の双方での告知を掲載（3月1日公開済み）。	履行済
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (改善) [周知]同上 [支援措置] ・学修奨励金、月当たり25,000円を今後も継続的に本専攻の学生へ支給する。 ・JASSO海外留学支援制度 協定派遣：令和5年度に申請し再び採択された。成績優秀かつ家計費基準を満たす学生に月当たり8万円を支給する。（上記学修奨励金と併給可） 対象）2023年度入学の日本人 協定受入：令和5年度は不採択の結果となり、現在追加採択待ちの状況である。 本件について、本専攻のホームページに日本語・英語の双方での告知を掲載（3月公開済み）	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<京都大学大学院経済学研究科京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（国際連携専攻）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>[連携外国大学との協議の場] GLOCALコンソーシアム7大学の協議・決定の組織として、コンソーシアム運営協議会Consortium Management Board, CMB)を設け、原則として年2回、物理的に参集しての会議を開催する。</p>	<p>[連携外国大学との協議の場] コロナ禍の下での出入国制限に対応するため、設置時には「物理的に参集」するとしていたコンソーシアム運営委員会をオンラインにて実施し、またこれと同一のメンバー構成で、より日常的な連絡調整を目的で月一回のオンライン会合を実施した。開催日時と議題は以下。 ・コンソーシアム運営委員会（令和5年2月3日：2023年度サマースクールの開催、修論題目、令和5年度入試出願状況確認他、令和5年2月24日：入試審査状況の確認他、3月29日・30日：EU奨学生選抜他） ・月例連絡調整会議：学生の履修状況、コンソーシアム予算、令和5年度生募集、サマースクール開催計画等。 開催日程：令和4年度：4月22日、5月13日、6月10日、10月28日、11月22日、2月3日、令和5年度：4月22日、以降基本的に毎月開催を予定。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 大学設置基準第51条2項に規定されている連携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>令和3年7月8日に「京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻運営委員会内規」を改正し、国際連携専攻運営委員会の監督下にある専攻教員会議の下に国際連携専攻FD部会を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和3年9月28日：第二回国際連携専攻教員会議を開催、専攻教員6名参加 令和3年11月24日：第三回国際連携専攻教員会議を開催、専攻教員6名参加 令和4年1月20日：第四回国際連携専攻教員会議を開催、専攻教員6名参加 令和4年10月6日：第四回国際連携専攻教員会議を開催、専攻教員7名参加</p> <p>c 委員会の審議事項等： 1) カリキュラム点検・改善、2) 教育方法点検・改善、3) コロナ禍対応、4) 学生支援、5) その他</p>

② 実施状況

a 実施内容

令和3年9月28日:第二回FDワークショップを開催(専攻教員6名):開講科目の最終調整、修論の教育メソッド他

令和3年11月24日:第三回FDワークショップを開催(専攻教員6名):学生からの要望対応、教材選定他

令和4年1月20日:第四回FDワークショップを開催(専攻教員6名):成績評価とフィードバック方法、次年度の授業計画

令和4年10月6日:第五回FDワークショップを開催(専攻教員7名):授業および修論ワークショップの運用、指導教員候補の選定他

b 実施方法:いずれもオンラインによる

c 開催状況(教員の参加状況含む):国際連携専攻教員7名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況:授業内容[ゲスト講師の人選含む]・成績評価方法の改善(Economic Development and Policy in the Asia-Pacific; Industries and Global Competition他)、指定図書の見直し

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期:各学期末に実施することとする。

2021年度秋学期入学1期生の第1セメスター(2021年9月~12月)修了後、授業評価を実施済み

2021年度秋学期入学1期生の第3セメスター(2022年10月~2023年1月)修了後、授業評価を実施済み

2022年度秋学期入学2期生の第1セメスター(2022年9月~2022年12月)修了後、授業評価を実施済み

b 教員や学生への公開状況、方法等:教員・学生双方に対し結果を開示する

上記についてメールにより開示済み

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

専攻設置以前であり計画・準備状況に関する自己評価であるが、設置の趣旨の記載内容・計画に基づき準備が進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期：昨年度履行状況報告書提出時には令和4年8月末予定と記載したが、新たに本研究科の自己点検・自己評価報告書を令和5年度に発行予定となったため、本専攻分もあわせて令和5年度中に公表予定

b 公表方法：自己点検・評価報告書をデジタル媒体（PDF）にて作成し、大学ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

本学では、大学全体として大学改革・学位授与機構による認証評価を受けており、今回は令和8年度の実施を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内（令和3年度分について、令和4年4月20日公表済み）
[令和4年度分について、令和5年4月10日公表済み）]

c 公表方法 [本学経済学研究科ウェブサイトの国際連携グローバル経済・地域創造専攻ページへの掲載]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻運営委員会内規

令和2年11月12日 教員協議会制定

令和3年7月8日 教員協議会改正

(趣旨・根拠規定)

- 第1条 「京都大学通則」第36条4（令和3年9月15日施行）、「京都大学学位規程」別表第3（令和3年9月15日施行）、「京都大学大学院経済学研究科の組織に関する規程」第5条（令和3年9月15日施行）、および「京都大学大学院経済学研究科規程」第1条（令和3年9月15日施行）に基づき国際連携専攻（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第35条第1項の規定による外国の大学院と連携して教育研究を実施するための専攻をいう。）として経済学研究科に設置される「京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻」（以下、「国際連携専攻」という。）に関し、「京都大学大学院経済学研究科京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻設置計画書」（令和2年8月20年文部科学省高等教育局提出）「設置の趣旨を記した書類」に定める管理運営組織として、経済学研究科に「京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻運営委員会」（以下「運営委員会」という。）を設ける。
- 2 運営委員会は、国際連携専攻に関して大学間協定として締結された「コンソーシアム協定書」の定めによりコンソーシアム構成大学が設ける管理組織「コンソーシアム運営協議会」と協議・調整のうえ、教育課程の運営体制と教育組織の編成を定め、国際連携専攻の運営に関し必要な決定を行う。

(所掌)

- 第2条 運営委員会は必要に応じて委員会を開催し、国際連携専攻に関わる以下の事項につき審議し、必要な決定を行い、経済学研究科教員協議会ないし経済学研究科会議に附議し、承認を受けるものとする。
- (1) 国際連携専攻に従事する教員の組織編成および国際連携専攻運営の基本方針に関する事項
 - (2) 学生の募集・選抜、教育課程の設計・管理、学位審査、学生支援など、教育研究および学生に関する基本方針、ならびにこれら教育研究の実施に際しての重要事項
 - (3) コンソーシアム運営協議会における協議方針
 - (4) コンソーシアム協定書ならびにグラスゴー大学・バルセロナ大学・京都大学ジョイント・ディグリー・プログラム協定の改廃・変更に関する事項
 - (5) その他、国際連携専攻の運営に必要な事項

(構成)

第3条 運営委員会は以下の委員で構成する。

- (1) 研究科長
- (2) 副研究科長 2名
- (3) コーディネーター教員 1名ないし2名
- (4) 国際連携専攻所属教員 第3号の者以外から若干名(研究科長指名による)
- (5) その他、研究科長が必要と認めた者

なお、第3号のコーディネーター教員については第6条に定める。

- 2 前項第1号および第2号の委員の任期は、当該職務の任期の間とする。
- 3 第1項第3号から第5号までの委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(議長)

第4条 研究科長は運営委員会を召集し、議長となる。副研究科長は代理を務めることができる。

(専攻教員会議)

第5条 運営委員会の下に、国際連携専攻における教育および関連の日常業務を担当する教員からなる「国際連携専攻教員会議」(以下、「専攻教員会議」という。)を設ける。

- 2 専攻教員会議は、国際連携専攻に教育を提供する教員のうち、他部局所属の「兼担」教員を除く教員で構成する。ただし、授業科目「Master Thesis Research」、「Master Thesis Design」以外に担当科目を持たない教員については、原則として専攻教員会議への参加を免除する。
- 3 専攻教員会議は、学生の募集・選抜に関する実務、教育課程の管理と授業提供、研究指導、学位審査、学生支援、ならびにこれらの事項に関わる連携先大学との連絡調整など教育研究および学生に関する日常的な業務や問題に関し情報を共有し、必要な協議を行い、運営委員会に附議する。
- 4 専攻教員会議は、コーディネーター教員がこれを主宰する。

(コーディネーター教員)

第6条 研究科長は、国際連携専攻所属の専任教員から、連携先大学との調整を担当する専任教員1名ないし2名を、コーディネーター教員として任命する。うち少なくとも1名は、他専攻を併任しない専任教員とする。

- 2 コーディネーター教員が複数名いる場合は、研究科長はそのうち1名を主任コーディネーター教員に指名する。
- 3 主任コーディネーター教員は、プログラムの管理・運営やプログラムに所属する学生の指導において主導的な役割を果たすものとする。

(教育・運営の点検・評価)

第7条 国際連携専攻における教育・運営体制の点検・評価については、部局FD委員会の下に設けられた点検評価WGと連携しつつ、運営委員会の監督の下、専攻教員会議がその実務を行う。運営委員会は専攻教員会議による報告を審議し、その内容・結果をFD委員会に報告する。

(ファカルティ・ディベロップメント/教育改善)

第8条 国際連携専攻における教育改善活動は、部局FD委員会の下に設けられた大学院教育改善WGと連携しつつ、運営委員会の監督の下、専攻教員会議が国際連携専攻FD部会を設けてこれを行う。

(雑則)

第9条 運営委員会に関する事務は、教務掛において処理する。

2 この内規に定めるもののほか、運営委員会の議事の運営、その他必要な事項は、運営委員会が定める。

附 則

この内規は、令和3年9月15日から施行する。